

## 南アフリカの金利引き上げについて

2016年3月18日

南アフリカ準備銀行(中央銀行)は3月17日(現地時間)、政策金利を0.25%引き上げて7.00%とすることを決定しました。2016年1月の0.5%に続く追加引き上げとなりました。事前のエコノミスト予想では利上げの有無に対する見方が分かれていたこともあり、南アフリカ・ランドはやや上昇しましたが、一巡後は比較的落ち着いた動きとなっています。

## 《利上げの背景について》

今回の利上げ決定の背景として、以下のことが考えられます。

## ①先行きのインフレ加速に対する懸念

1月のインフレ率は総合CPIが+6.2%とインフレ目標レンジ(3~6%)の上限を上回り、コアCPIは+5.6%となりました。ともに前月から加速し、特に総合CPIは前月の+5.2%から大幅な加速となりました。引き続き自国通貨安による輸入物価の上昇に加えて、干ばつを背景とした食料品価格の上昇がインフレ圧力を高めています。同準備銀行はインフレ率について、利上げ効果を勘案し前回から下方修正したものの、2016年から2017年にかけて加速するとの見通しは継続し、2016年のコアCPIの見通しについては前回から引き上げました。

## ②自国通貨の防衛

南アフリカ・ランドは、前回の利上げ以降、金価格の上昇に連れて概ね堅調な動きとなっていますが、景気に対する慎重な見方に加えて、財務相に対する警察の捜査報道や格下げに対する懸念から下落するなど、不安定な展開となる場面もあります。経常赤字が懸念される中、今回の利上げは、自国通貨の下落回避を目指した措置とみられます。

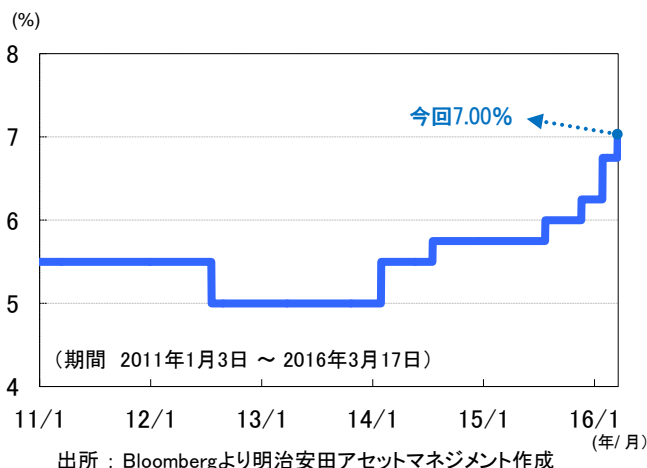
## 《今後の為替見通しについて》

10~12月期の実質GDP成長率は前期から減速しました。足元の景気については、製造業PMIが市場予想を上回ったものの景況判断の節目とされる50を下回った状況が続いています。

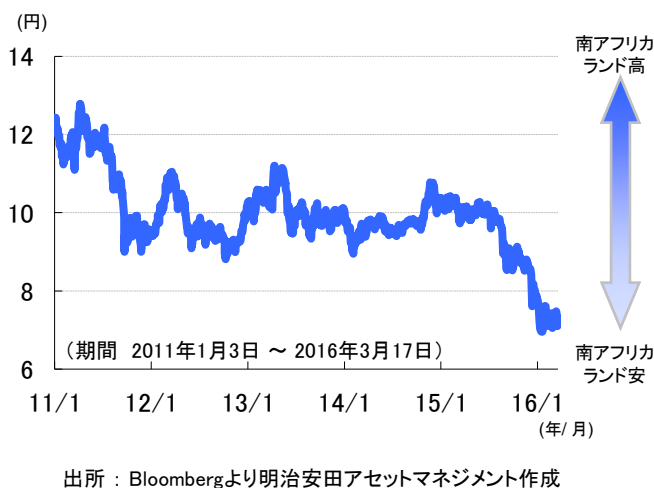
製造業生産は市場では小幅のプラス予想に対して減少したほか、小売売上高も市場予想を下回りました。準備銀行は金融政策について今後とも、景気減速に配慮しつつ、足元のインフレや通貨動向を重視した政策運営を行うと考えられます。

南アフリカ・ランドは、利上げによる景気の下押し圧力や足元で上振れしたインフレ動向に加え、格下げが警戒されやすいこともあり、当面は不安定な展開になるとみられます。

## 《南アフリカの政策金利の推移》



## 《南アフリカ・ランドの対円推移》



- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。